江別工業団地だより

ついしかり

令和2年1月15日 vol.146

■発行／江別工業団地協同組合　江別市工栄町15の1　電話384-3262■発行責任者／理事長 杉野邦彦■印刷／色岡印刷株式会社

*広報「ついしかり」の名称は、江別の発祥の地「対雁」（現在の工業団地周辺）の地名からとったものです。

ヒレンジャクとナナカマドの実（野幌）

写真提供／フランク（photoAC）

目　次

○ 表紙 ヒレンジャクとナナカマドの実 …… 1
○ 年頭のご挨拶 …… 2～3
○ 江別工業団地広報プロジェクト 企業紹介 …… 4～7
○ 全国産業安全衛生大会に参加して …… 8
○ 第16回親睦ボウリング大会 …… 9
○ 創立45周年記念 視察研修旅行 …… 10～11
○ 赤い羽根共同募金 …… 12
○ 日本赤十字へ義援金寄付 …… 12
○ 献血ボランティア活動 …… 12
○ 健康体操ワンコインレッスン …… 13
○ 投稿募集中 …… 13
○ 山登り同好会レポート Report 3 …… 14～15
○ 開催セミナー・イベント予告 …… 16
○ 全国中小企業団体中央会会長表彰 受賞 …… 16
○ わが郷土の歴史 その35 …… 17
○ クロスワードパズル …… 18
○ 組合予定行事 …… 18

令和二年
年頭にあたって

江別工業団地協同組合
6代目理事長
杉野　邦彦

組合員のみなさま、新年あけましておめでとうございます。

令和二年めを迎え、みなさまには健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。また平素より組合運営に多大なご理解とご協力をいただき心より感謝申し上げます。

令和元年「今年の漢字」の第1位は、昨年の「災」から一転して正に新時代の幕開けに相応しい「令」でした。しかし昨年の12月にマドリードで開催された国連地球温暖化対策（COP25）では、2019年一年間で最も自然災害による損害が大きかった国は、日本だったとの報告がありました。昨年も本州では、台風15号や19号などの多くの災害に見舞われた一年でした。江別工業団地協同組合としても、日本赤十字社北海道支部江別地区（代表者 三好市長）に対して「令和元年　台風第19号　災害義援金」を寄付させていただきました。

もはや日本の自然災害は毎年のように各地で大きな被害をもたらし、日本のどこでそうした災害がおこっても不思議でなくなってしまいました。ますます環境に対する意識を高めていくとともに、企業においても個人においても、普段から災害に備える準備をいっそう強めていかなければなりません。

一方で、日本中が熱狂したラグビーワールドカップの日本チームの大活躍と、そして新天皇陛下の「即位礼正殿の儀」や、新皇后とともに行われた「祝賀御列の儀」パレードに、将来の日本や世界の平和を願い、私たちの未来に明るい希望を抱いた国民は多かったと思います。さらに今年は、1964年から56年ぶりに、待ちに待った2回目の東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。そして、札幌市でもオリンピックのサッカー競技の他に、マラソンと競歩が札幌開催となりましたので、北海道でもオリンピックを応援し、いっそう盛り上げたいものです。

さて昨年は江別工業団地協同組合におきましても、創立45周年として各種の記念事業を開催させていただきました。特に5年ごとの「工業祭」では、江別市民を中心に約3000人の方々が来場され、組合員企業の商品がPRを兼ねて格安で提供されたり、江別市ゆかりのミュージシャンの演奏会や、豪華景品が100名に当たる大抽選会など大盛り上がりでした。また地元大学との連携事業についても、札幌学院大学との広報プロジェクトに続き、北海道情報大学と連携して江別工業団地PR用のプロモーションビデオ制作に取り組みました。

こうした組合員のみなさまの「チーム工業団地」としての頑張りと、日頃からのご協力に深く感謝申し上げます。私たちはこれからも「地域と共にある工業団地」「安全で開かれた工業団地」「互いに学び成長する工業団地」を目指してまいりましょう。

昨年は江別市の人口が何と15年ぶりに増加しました。ぜひこれからも組合員のみなさまと一緒になって誇れる工業団地づくり、しいては江別地域の活性化に繋げられるようにチーム力を発揮していきましょう。どうぞ本年もよろしくお願いいたします。

年頭のご挨拶

江別市長
三好　昇

新年あけましておめでとうございます。

皆さまには、日頃から市政各般に深いご理解と温かいご支援、ご協力を賜り心から感謝申し上げます。

昨年は、元号が「平成」から「令和」に変わり、新たな時代の節目を迎えた中、当市においても、人口減少対策を最大の課題と捉えて策定した、第６次総合計画「えべつ未来づくりビジョン」の後半５年間がスタートしました。

これまで「えべつ未来戦略」の下、子育て環境の充実を進め、年少人口を中心に転入が転出を上回る社会増が続いているほか、12月に野幌駅南口に完成した宿泊施設と市民交流施設が、新たな人の流れを創出し、更なるまちの活気と交流人口の増加につながるものと期待されます。

さて、今年は、いよいよ東京オリンピック・パラリンピックイヤーとなります。

昨年、陸上十種競技の右代選手、バドミントン世界選手権女子ダブルス２連覇の松本選手、ラグビーW杯ではオーストラリア代表チームなど、トップアスリートとの交流でたくさんの勇気と感動を頂きました。

今年も、スポーツ合宿誘致を進めると共に、スペシャルオリンピックスが市内でも開催されるため、市民の皆さまと一緒になって盛り上げ、スポーツ活動の活性化と普及促進を図って参ります。

また、「健康都市宣言」から今年で４年目を迎えます。これまでの健康寿命延伸に向けたＥ－リズムや野菜摂取の推進に加え、働き方にもつながる企業の健康づくりに取り組んで参ります。

あわせて、地域の特性を活かした産業間連携や産学官連携等による商工業の振興と、地域資源の掘り起こしによる観光振興などの施策を進めるほか、企業の皆さまと協力しながら、経済活性化に向けた地域内の投資や雇用の創出に努めて参ります。

喫緊の課題であります市立病院の経営改善につきましては、「市立病院の役割とあり方を検討する委員会」からの提言のもと迅速に対応して参ります。

今後におきましても、市の持つ特性や優位性を活かしながら、総合計画で掲げる「協働のまちづくり」、「災害に強いまちづくり」を進めて参りますので、皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

新たな年が皆さまにとって希望に満ちた一年となりますよう、心からご祈念申し上げます。

株式会社ダンロップ リトレッドサービス 北海道工場

リトレッド工場とは

ダンロップというとイギリスを起祥とするタイヤブランドであり、現在はその本部所有権を住友ゴム工業が保有している。その工場ということでタイヤを一から製造している工場を想像する人も多いだろうが、今回紹介する工場はタイヤのリトレッドを行っている工場である。

リトレッドといっても分らない人も多いだろう。簡単にいえばタイヤの再利用である。リトレッド方式には二つの方式種類があるが、日本では、トレッドの端から端までしっかり張付けられるという理由からモールドキュア方式が多く採用されている。この方式は、使い古されたタイヤを①洗浄、②目視・触診確認、③一定まで削り、④ゴム糊を塗布、⑤ゴムの巻き付け、⑥加硫（溝付け）といった工程になる。

基本的にリトレッドを行うタイヤはバスやトラックなどの業務用車輌タイヤが多く、サイズや種類が多い乗用車用のタイヤはリトレッドされることはないようだ。

また、ここの工場では年間3万本、日に約125本ものタイヤのリトレッドをおこなっている。

↑①洗浄工程

↑③古いタイヤを一定まで削る工程

↑傷や不純物を削る工程

↑⑥加硫（溝付け）行程

企業情報

(株)ダンロップリトレッドサービス北海道工場
更生タイヤ製造業
〒067－0051 北海道江別市工栄町13－2
TEL(011)383－3235

取材を終えて

工場独特の作業風景は、自分はあまり触れる機会がないのでとても新鮮で、特に、上にある⑥加硫の写真にあるように、タイヤをはめ込み、スイッチを押すと、自動的にタイヤが搬送され、その上にある装置がタイヤを包み込むように圧縮し、加硫後に湯気をまとって出てくるタイヤの姿は、機械好きにはたまらない好奇心をくすぐられるものでした。

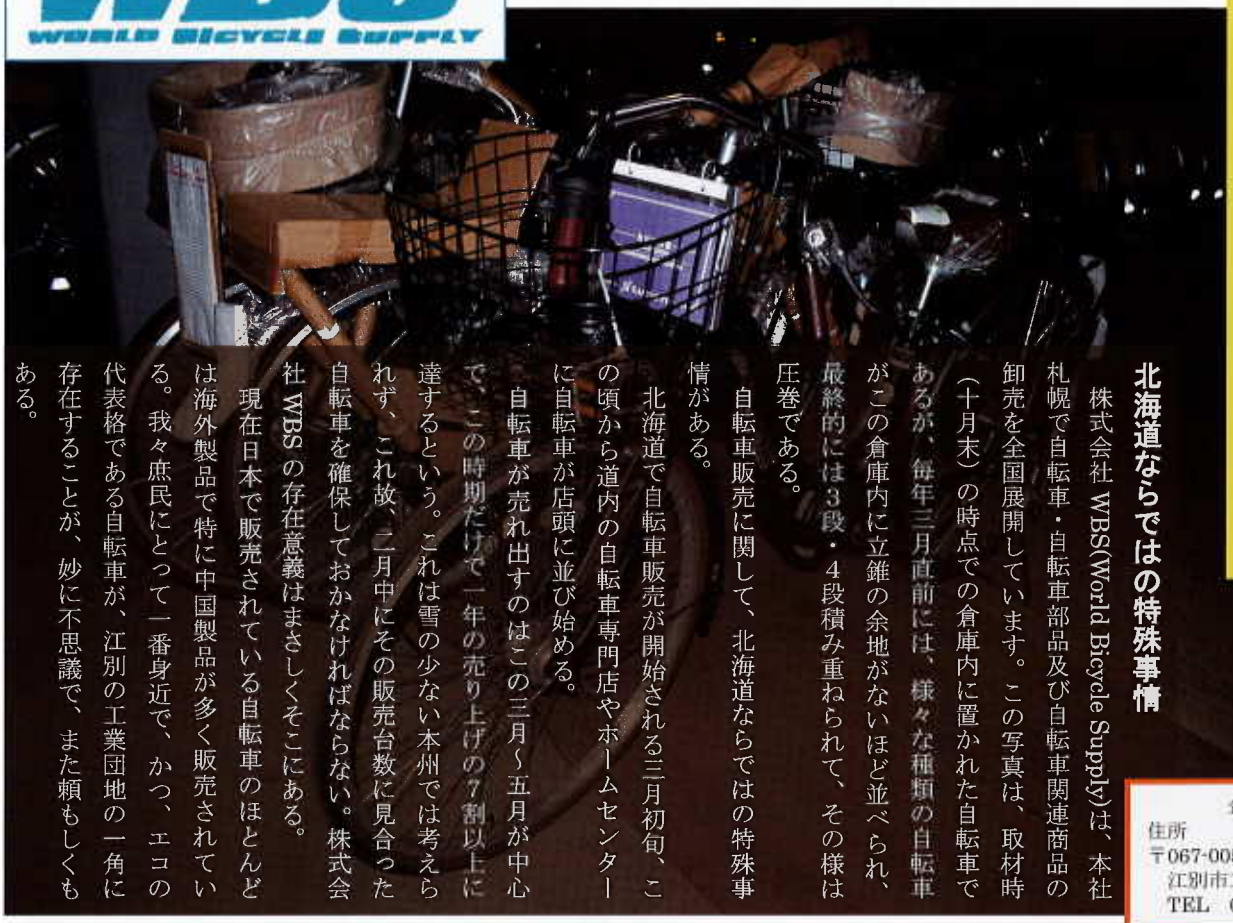
今回協力いただいた次長の谷 政宏さん

若者へ向けて一言

今の若者だから駄目だということはなく、自分の工場の若い子は熱心に仕事に取り組んでくれているので、若者と一括りにするのではなく、個人個人を見てあげることが大事であると語る谷さん。

江別の学生に地域の企業を知ってもらいたい。そして市内の企業へ就職するきっかけを作りたい。この江別工業団地には、高い技術と品質を提供する優良な企業がたくさんあり、また私たちの生活にとっても身近で親しみのある会社が多く存在します。札幌学院大学に協力を仰ぎ、学生の皆さんに企業を取材してもらうことで理解を深める機会をもうけました。長い時間をかけ学生が取り組んだ取材記事を、ご紹介いたします。

株式会社WBS



北海道ならではの特殊事情

株式会社 WBS(World Bicycle Supply)は、本社札幌で自転車・自転車部品及び自転車関連商品の卸売を全国展開しています。この写真は、取材時（十月末）の時点での倉庫内に置かれた自転車であるが、毎年三月直前には、様々な種類の自転車がこの倉庫内に立錐の余地がないほど並べられ、最終的には3段・4段積み重ねられて、その様は圧巻である。

自転車販売に関して、北海道ならではの特殊事情がある。

北海道で自転車販売が開始される三月初旬、この頃から道内の自転車専門店やホームセンターに自転車が店頭に並び始める。

自転車が売れ出すのはこの三月～五月が中心で、この時期だけで一年の売り上げの7割以上に達するという。これは雪の少ない本州では考えられず、これ故、二月中にその販売台数に見合った自転車を確保しておかなければならない。株式会社 WBS の存在意義はまさしくそこにある。

現在日本で販売されている自転車のほとんどは海外製品で特に中国製品が多く販売されている。我々庶民にとって一番身近で、かつ、エコの代表格である自転車が、江別の工業団地の一角に存在することが、妙に不思議で、また頼もしくもある。

企業情報
住所
〒067-0051
江別市工栄町 20 番地 2
TEL　011-385-3105

若者に一言

この業界は自転車が好きで真面目に仕事ができる人が通用する。自転車業界は新規採用が減少しているが、若者がもっとこの業界に目を向けて進んでくれればより活性化するのだが・・。

その際には、仕事は体力勝負なので、スポーツなどして体力をつけたりして、仕事をどんどん好きになれる人間が企業で成長していくのではないか。今の若者にはそういう意味で大いに期待している。

若杉営業統括部長

私たちが取材しました

今回の企業取材はわたし自身あまり関わったことのない企業への取材で緊張しましたが、どのような職業でも仕事をするうえで、まずは仕事を好きになることや向上心を持ちつつ仕事に励んでいくことが必要なことなんだと学ばせていただきました。

取材にご協力いただきありがとうございました。

三和機工株式会社

【GM2810　乗用5連ロータリーモア】
作業能率の高い大型の乗用型エンジン草刈り機。刈り芝を細かく粉砕して
きれいな刈り上げりを実現させる。

→どんな修理にも対応するために数千種類の部品をストックしている。

環境に貢献　世界の床屋さん

三和機工は芝刈機の販売と修理を主に取扱っている。草の長さによって芝刈機の種類も変わるため、三和機工は何百種類もの草刈機・ゴルフ場管理機械等と、何千種類もの部品を扱っている。主な販売先は道内各ゴルフ場、造園業者、各町村役場などであり、国産と輸入品の直接販売が多い。その中でもとりわけ、ゴルフ場のシェアや民間への販売が多い。芝刈機は雪が降り始める「十一月」に修理を行い、雪が解け始める「四月」に配達をする。

◆環境に配慮

三和機工では排気ガス規制に対応するために、コンピュータでの処理を駆使した新しいエンジンを開発中である。芝刈機を通して環境や社会に貢献しているのである。

◆一人前になるまで

職人は一人前になるまで、個人差はあるが約10年はかかる。他の企業とは違い、営業に行った時に修理できるように営業職の人も基礎から覚えている。今後の課題は「若返りを図ること」である。

企業情報
三和機工株式会社
製造業
江別市工栄町21-29
011-398-3660
代表取締役社長　今井泉　久生
平成22年　札幌共栄社を合併

～若者への一言　「忍耐強く」～
物事をしっかり理解して積み重ねていくことが大切。そして結論を急がず忍耐強く成果が出るまで頑張り続けてほしいと思います。

専務取締役
福田　道忠さん

～コラム　私たちが取材しました～
草の種類によって草刈機を変えていること、また環境に対して配慮して社会貢献していることをお聞きし感銘をうけました。

江別の学生に地域の企業を知ってもらいたい。そして市内の企業へ就職するきっかけを作りたい。この江別工業団地には、高い技術と品質を提供する優良な企業がたくさんあり、また私たちの生活にとっても身近で親しみのある会社が多く存在します。札幌学院大学に協力を仰ぎ、学生の皆さんに企業を取材してもらうことで理解を深める機会をもうけました。長い時間をかけ学生が取り組んだ取材記事を、ご紹介いたします。

有限会社鹿内工業

はプラントでの機械設置が主な仕事である。「機械に使われるような仕事はしたくない」「技術は安売りしない」というのが社長のこだわりである。これまでに王子製紙、火葬場、チョコレート工場やトヨタのライン、海外に行きマクドナルドのラインの製作などを手掛けてきた。作業期間は3日以内という指定もあれば、規模によっては4年をかけて制作する工事も存在するなど様々である。現在、クレーン車を二台所有しており、それらを自在に扱える人材を募集している。鹿内社長の夢は「人ができなかったことをすること」であり、クレーン車を活用した新たな分野の仕事にも挑戦するそうだ。

技術に裏付けられた信頼関係

鹿内社長は色々な職種を経て、平成5年に鹿内工業を起業。その時の心境は「自分でゼロからやってみよう。ゼロから下はないのだから必ずプラスになるのでは」というプラス思考の考え方だった。設立後も様々な職種をやってきて形作られた人間関係の中で、様々な仕事を受注する機会があり、それによって仕事の範囲もさらに広がっていった。信頼を裏切らない確かな技術によって二十年以上の間、信頼を保ち続けている。

鹿内工業の重機

若者への一言

代表取締役　鹿内　富雄さん

ハングリー精神・探求心・野心を持ってほしい。「この仕事は私に合わない」と決めつけるのが早すぎる。達成感を味わえば仕事のやりがいが分かるのに、分かる前に諦めてしまう。やってみたら思っていたものと全然違うということは沢山ある。頭ではなく、身体で味わうこと。頭だけで判断してほしくない。周りの同世代より苦労して上にいかないと成長しない。

取材を終えて

良いお話を沢山聞くことができた。鹿内社長は好きな仕事を続けてこられたという。人生経験は自らを成長させ、可能性を無限大まで広げられるということを鹿内社長との取材で感じることができた。ここまで二十年間、自分の好きな仕事をやってこられたと言いきれるような将来像を我々も持てるだろうか、あるいは二十年後そう言えるだろうか。そういうことを考えさせられた取材でした。

企業情報
有限会社鹿内工業
代表取締役社長
鹿内　富雄
江別市
工栄町25-15
Tel　011-382-6052

第78回 全国産業安全衛生大会に参加して

オシキリ食品株式会社　取締役工場長　菅原　康之

10月23日から25日の３日間、（株）マルナカ村上社長・組合の村田専務と共に京都で行われた全国産業安全大会に参加させていただきました。

私にとっては一昨年の名古屋での大会以来２度目の参加となりました。

開幕はたくさんの人と熱気に圧倒されるのですが今回は少し様子が違ったのが最初の印象でした。会場が上下で分散されていたのも原因かと思いますが…。

オープニングはＮＨＫの連続テレビ小説「カーネーション」（尾野真千子がヒロイン）のモデルになったデザイナーのコシノジュンコ氏の講演。さすがにいつもテレビで見ている顔には迫力がありました。

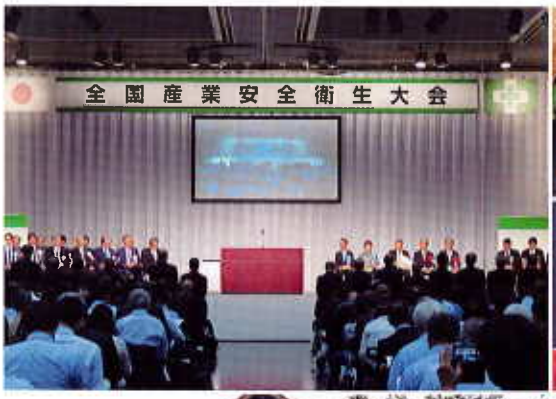
話は社交界の人脈など多岐にわたっていましたが人生の出会いに無駄はない、後で振り返るとそこにはちゃんと意味があったとの内容でした。成功とは何を意味するのかは人それぞれだと思いますが大なり小なり人には出会いがありその出会いを意味あるものにするのは本人次第ではないでしょうか …

全国規模の大会に参加するとその準備に携わった方たちの大変さを感じます。参加の都度改めて労働安全衛生について考えるヒントと刺激をもらっていますが、社会の変化と並行して労働安全衛生を取り巻く環境も変化していると感じます。働き方・価値観の多様化、人出不足と高齢化社会、外国人材の増加、安全で安心して働ける環境づくりは私たちが常に意識して安全衛生対策を考え推進しなければならないのだと。

あいにくの雨模様で移動は大変でしたが大会への参加、京都観光も含め思い出に残る３日間となりました。村田専務が手を尽くし京懐石料理を手配していただいたのですが、会食中疲れのあまり不覚にも居眠りをしてしまいました。

人生100年まだまだこれからと思っていましたが、ちょっと情けなく落ち込んでいます。村上社長・村田専務申し訳ありませんでした。

来年は北海道が会場とのことです。江別工業団地組合としての関りも例年とは違ったものになると推察されますが日々心と体を鍛え次回に備えたいと思います。

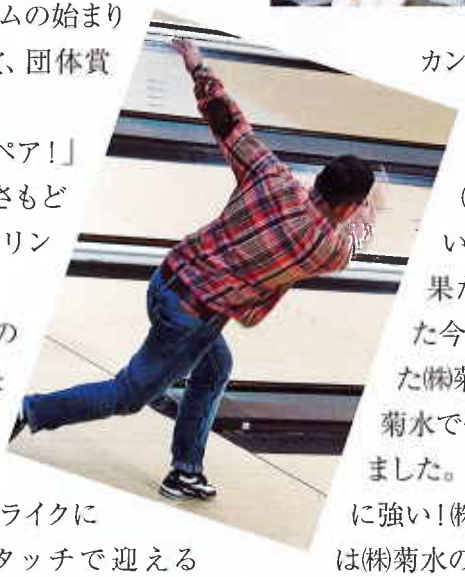


第16回 親睦ボウリング大会 開催

第16回親睦ボウリング大会&焼肉交流会が、令和元年11月17日（日）午前10時20分より、「サッポロオリンピアボウル」で開催されました。

昨年に続き「サッポロオリンピアボウル」での2回目の開催となりました。今年は、14企業36名がエントリーされ、1チーム4名で9レーンを使い熱い戦いが繰り広げられました。

委員長の挨拶のあと、昨年優勝をされた日成ビルド工業㈱　岩口毅さんの始球式でゲームの始まりです。試合は2ゲームの得点で個人賞、団体賞を目指し競い合います。



早速各レーンで「ストライク！」「スペア！」と歓声が響き、雪が降り続く外の寒さもどこかに吹き飛ぶ熱気に包まれたボウリング大会の始まりとなりました。

個人賞もさることながら、各レーンの2位と3位のトータルスコアで順位を決める団体賞も狙い、お互い他のレーンの得点を見渡しながら団体賞狙えるぞとばかりに同じレーンの方のストライクにはハイタッチで迎えるシーンが各レーンで見られ、団体で開催するボウリング大会の醍醐味を味わうことができました。

ボウリング終了後はサッポロビール園へ移動しポプラ館にてジンギスカンを食べ、ビールを飲みながらの表彰式が行われました。

団体優勝 9レーンの皆さん

団体準優勝 7レーンの皆さん

団体3位 8レーンの皆さん

個人優勝 千葉さん

個人優勝は㈱菊水 千葉智明さん（306点）です。好成績ながら準優勝という結果に終わった昨年のリベンジを果たしました。おめでとうございます。また今回はわずか2点差で準優勝となりました㈱菊水　藤原憲一さん（304点）も含め㈱菊水で個人賞1位と2位を独占する結果となりました。ソフトボール大会に続いて「記念事業に強い！㈱菊水」を目の当たりにしました。次回は㈱菊水の連覇、そして㈱菊水の“打破”を目指すボウリング大会に期待です。

団体賞では個人賞1位、2位のいるレーンが優勝かと思いきや個人賞3位オシキリ食品㈱ 山田祐平さん（296点）の9レーンがトータル554点と個人優勝を果たした㈱菊水 千葉智明さんの7レーン（546点）をわずかな差で抑え団体優勝となりました。

各賞の受賞者には多くの拍手が送られ、同じレーンだった方はもちろん、違うレーンの方とも親睦交流を深める事ができました。今回初参加の方からは次回もぜひ参加したいとの言葉もいただき次回の開催も今回同様熱い戦いが期待できる親睦ボウリング大会となりました。

第16回親睦ボウリング大会結果発表

個人賞

順位	氏名	企業名	ゲーム1	ゲーム2	スコア計	HDCP	総得点
優勝	千葉 智明	㈱菊水	150	156	306		306
準優勝	藤原 憲一	㈱菊水	148	156	304		304
3位	山田 祐平	オシキリ食品㈱	152	144	296		296
4位	津田 幸勝	㈱システック	128	144	272		272
5位	島田 克彦	日成ビルド工業㈱	140	141	281		281
6位	黒川 竜平	北海道中央食糧㈱	135	142	277		277
7位	髙橋 玉枝	パナソニック物流㈱	117	140	257	20	277
8位	神林 美穂	カワサキ資材㈱	119	136	255	20	275
9位	久保 祐紀	㈱丸正久保総業	140	130	270		270
10位	本田 隆紀	㈱システック	138	131	269		269

団体賞

団体賞	レーン番号	メンバー氏名				2位	3位	計	総合計
優勝	9レーン	神林	力・佐藤	賢治・山田	祐平・本江	一貴	296	258	554	1039
準優勝	7レーン	田代	敏宏・多田	知規・津田	幸勝・千葉	智明	292	254	546	1047
3位	8レーン	宮川	博通・久保	祐紀・藤原	憲一・室谷	峰子	270	261	531	1060

創立45周年記念 視察研修旅行

芸術・文化に触れる旅

昭和49年11月29日設立総会を開催し、組合発足。今年、45周年を迎えることとなりました。45周年を記念して「芸術・文化に触れる旅」をコンセプトに、11月22日（金）から24日（日）まで2泊3日の旅に行ってまいりましたので、その様子を書いてみます。

11月末も近い時期、本州は「秋色」になっているのでは??と、密かに胸を膨らませ、千歳空港に集合。参加者は、17名。男女比はやや男性が多い？楽しい旅になりそうです。

千歳空港を出発し伊丹空港へ。その後、大型バスにて移動です。最初の目的地は、徳島県鳴門市にある「鳴門の渦潮」です。渦潮は1日に2回ほど巻きますが、到着した時間帯が悪く、渦潮観光船で海に出たものの、渦がない!! 3回目の正直！と、言って楽しみにしていた方は…なぜ見れない??と、悔しがっていました。

残念な渦潮でしたが、次回に期待し、昼食タイム。瀬戸内海で育った美味しい「鯛」を堪能しました。

昼食後は、昨年末の紅白で米津玄師さんが歌った場所として有名になった「大塚美術館」です。ここは、徳島県鳴門市にあり、大塚製薬グループが創業75周年事業として平成10年に開館し、西洋名画等をオリジナルと同じ大きさに複製し展示する陶板名画美術館です。作品数は1000以上あり、陶板名画なので、手に触れることもできます。

ゆっくり見ると、1日かかっても最後までたどり着けるかどうか…。私は、2回目という事もあり、前回見逃したエリアを先に回り、後は、ゆっくり好きな作品を眺めました。今は現存しない作品、修復前のレオナルド・ダ・ヴィンチ「最後の晩餐」や戦火で失われたゴッホの「ひまわり」もあり、その他、スクロヴェーニ礼拝堂、システィーナ・ホール、素晴らしいものばかりでした。

大塚美術館で、たっぷり時間をかけましたので、鑑賞後はホテルへ直行。ホテルは香川県高松市にあり、夜は、小さな会場で宴会となりましたが、香川県の名物「うどん」も堪能し、大盛り上がりの1日目でした。

2日目は、朝早く集合しフェリーに乗って瀬戸内海に浮かぶ「直島」へ。

直島は、島の自然や地域固有の文化の中に、現代アートや建築を置くことによって、どこにもない特別な場所と経験を創造できる島として、近年、海外の方々が沢山いらっしゃっているようです。小さな島の中に、かぼちゃのオブジェ（草間彌生作）、現代アートのベネッセミュージアム、瀬戸内海の美しい景観を損なわないよう建物の大半が地下に埋設され、地下にありながら自然光が降り注ぐ地中美術館（安藤忠雄設計）、アートな家プロジェクト（7軒）等、いたるところにアートがありました。どのように感じるかは、みなさん、是非、直島へ渡り、感じ・創造してみてください。

直島を堪能した後は、金刀比羅宮へ。着いた時間が4時半。辺りはそろそろ薄暗くなってきましたが、さあ、785段の階段を登り切り、幸せの黄色いお守りを手にすることができるのは何人？？めでたく、3名の方が本宮まで登られました。ちなみに奥社までは1368段。明るいうちにきたら、挑戦してみよう。

夜は、金刀比羅温泉に宿泊。地元の食材と美味しいお酒で心もお腹も大満足。2次会では、みなさんの素敵な歌声に酔いしれました。

あっという間に3日目。淡路島人形浄瑠璃を見る予定で早めに出発したら、ちょっと早めに淡路島に着きそう、との事。時間は、ちょうど渦が巻く時間…。「渦潮が見れるかも??」と、寄ってみたら、渦巻いてました!!良かった〜!!

旅の最後の芸術は、淡路島の人形浄瑠璃です。日本最古の人形浄瑠璃で、事前に本日のお話の内容やどの様に人形を動かすか解説していただき観させてもらいました。

演目は「傾城阿波の鳴門　巡礼歌の段（口）」。事情があり名乗れぬ親と、親とは知らず置いてほしいとすがる子のやり取りが涙を誘います。人形なのに、その表情の凄さ。素晴らしい日本文化を堪能しました。

参加していただいた皆様、本当にありがとうございました。

令和2年も、視察研修会を開催予定しています。参加したことのない組合員さん、こんな風に気楽な旅です。是非、一度、参加してみては・・。

事務局　村田京華

10.31赤い羽根共同募金

共同募金は、戦後間もない昭和22（1947）年に、市民が主体の民間運動として始まりました。当初、戦後復興の一助として、被災した福祉施設を中心に支援が行われ、その後、法律（現在の「社会福祉法」）に基づき、地域福祉の推進のために活用されてきました。社会の変化のなか、共同募金は、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、さまざまな地域福祉の課題解決に取り組む民間団体を応援する、「じぶんの町を良くするしくみ。」として、取り組まれています。江別工業団地組合では平成13年より篤志として毎年30万円を福祉活動の資金の一助として、サポートさせていただいております。

令和元年台風第19号災害義援金送付

令和元年台風第19号に伴う災害により、日本各地に甚大な被害が発生いたしました。

12月11日（水）、この災害で被災された方々を支援するため、当組合より日本赤十字社へ「令和元年台風第19号災害義援金」として50万円を寄付させていただきました。

被災された方々へ、心よりお見舞い申し上げます。

献血ボランティア活動

江別工業団地協同組合では平成27年より北海道赤十字血液センターからの依頼により「献血ボランティア」活動に参加しております。

今年も11月12日（火）江別工業団地協同組合（江別工業会館駐車場）にて献血ボランティア活動を実施いたしました。当日の気温は4.1℃、天候は曇り晴れ。肌寒い日一日でした。

北海道の献血状況は、医療機関からの依頼を受ける約90％が400ml献血による血液製剤であり、200ml献血による血液製剤は約10％と大変少ない状況です。

安全な献血者を安定的に確保する目的として、また、病気やケガなどで輸血を必要としている患者さんの尊い生命を救うため、均質な血液製剤を安定的に患者さんのもとにお届けできるようご協力をお願いいたします。

今回、ご協力していただいた方は49名でした。受付をされた方49名、そのうち採血ができなかった方10名、採血（400㎖）された方39名でした。

採血ができなかった方の主な理由は、ヘモグロビン不足6名、寒さで血管が出なかった2名、血圧の数値が高かった1名、献血できない薬の服用1名でした。

皆さん寒い中ありがとうございました。

その日の体の調子で、参加された方全員が採血できるわけではありません。また、お薬の服用に関しても事前にご相談いただければアドバイスも可能ですので、一人でも多くの方に献血活動へのご協力していただけるようお願いいたします。

健康体操　ワンコインレッスン

健康経営の一環として、健康体操ワンコインレッスンを始めて一年が経ちました。

講師は、日本フィットネス協会理事　健康経営アドバイザーの山田泰子先生です。

一年前はセーフティウォーキングで歩き方のチェックやストレッチポールで腰痛ケアからスタートした健康体操も今では、簡単エアロビクスで脂肪燃焼＆ストレスケアも追加になり、体幹を鍛えバランスの良い体づくりからエアロビクスでの適度な運動もできるようになりました。昨年8月から参加させていただいた私も初めはストレッチポールに長く乗ることができずにいましたが、少人数でのレッスンだからこそ先生にじっくり体の使い方や力の入れ方を教わることができ、また自分のペースで進められるため、だんだんとストレッチポールに乗れる時間も長くなり体幹が良くなっていく実感と、やはり長く続けている方、そして先生のバランスよくストレッチポールに乗っている姿を見るとまだまだ続けたいという思いになりました。

ストレッチポールのレッスンの中では2人1組で他の方の姿勢やレッスン後の変化も見ることがあり、レッスン前は「右肩が下がってます」と言われていたものがレッスン後には「左右の肩がピッタリ合ってます」と言われるようになり、また簡単エアロビクスではゆっくりとした運動から始め、だんだんと手足の動きが追加されていき先生から「ついてきてー！」と声を掛けられながら徐々に先生の動きに合っていくようになりました。このようにもちろん長く続けて健康体操の効果の実感できることも多くありますが、一度のレッスンでも健康体操の効果を十分に実感できることもこの健康体操ワンコインレッスンの魅力の1つです。

当日の様子は写真のとおりですが、みなさん楽しく、そして、自分の体幹がどのくらいあるのかを感じていたようです。会場はまだまだスペースに余裕があり、また、ストレッチポールやマットもご用意させていただいております。レッスンは自分のペースで進められますので男性女性問わずぜひ健康体操ワンコインレッスンにお気軽に参加していただき、自分の体を知り、そして体調管理に役立てていただけたらと思います。

事務局　山本　雄大

投稿記事
投稿写真
募集中！

江別工業団地協同組合では、表紙写真と投稿記事を募集しています。ペットやガーデニングなど、ご趣味を紹介していただいたり、ご自分で撮影した写真や絵などの投稿をお待ちしております。ご不明な点がございましたら、下記までお問合せください。

江別工業団地協同組合　TEL：011-384-3262（担当）千種

8月3日(土)～4日(日) **10周年記念登山**
(1泊2日)／参加者15名
1日目 イワオヌプリ1,116m／2日目 アンヌプリ1,308m

(記録者／事務局　村田　京華)

10周年記念登山第1日目はイワオヌプリ。朝から気持ちの良い青空が広がり、絶好の登山日和です。今回は直接登山口集合、15名全員揃ったのを確認し、さあ登山開始です。この山はニセコ山系に位置する火山灰でできた山で、他の山に比べ地肌のむき出し部分が多く、山頂部には馬蹄形の噴火口が二つあります。頂上からはニセコの山々や羊蹄山、昆布岳が見渡せます。五色温泉インフォメーションセンター横のニセコ神社に「2日間、よろしくお願いします!」と、無事を祈願し、最初の難関、急勾配で長～い階段を黙々と登ります。登りきるとしばらくなだらかな道が続き、季節の花や周りの景色を楽しんでいると、頂上が見えてきます。あたり一面ガレ場です。足元に気を付けながら頂上まで!!ニセコの山々を見ながら、美味しいお弁当を食べました(^^♪

一日目の夜は、ペンションを貸し切り、みんなで楽しい食事や音楽、そして温泉三昧!楽しい声を聞きつけ、露天風呂に「蛇」も出没。居合わせた女子2名は、一緒にハイ!ポーズ!楽しい夜は更けてゆきました。

2日目は、H24年6月にも登ったニセコアンヌプリです。標高1,308m、スキー場もあり、1年を通してレジャーを体験できる場所でもあります。五色温泉横、ニセコ野営場から登ります。この日も天気は最高。登山口から奥に見える頂を目指して出発です。山頂まではひたすら登りが続きますが、周りの景色に心を癒され、もぐもぐタイムで体力を復活させ、やっと到着!いつものようにカップラーメンや入れたてコーヒーを飲むみんなと一緒にしばし休憩&記念撮影。空には、パラグライダーが悠々と飛んでいて、気持ちの良い登山でした。

第5回　9月8日(日)／参加者17名
恵庭岳1,320m(ポロピナイコース)

(記録者／山登り同好会 葛西　利光)

この山は平成26年の6月にもトライしましたが、雨にたたられ3合目で撤退した因縁の山です。ところがその年の9月、道央を中心とした豪雨でポロピナイ沢は泥流に押し流され恵庭岳登山は完全にストップとなりました。最近ようやく復旧し、立派な駐車場も整備されたのを機にリベンジ登山となりました。しかし山道の状態が不明なため、前週に下見登山です。以前の山道は倒木で塞がれ近くに新道が付けられており、山麓は樹々がなぎ倒され無残な有様でした。新たに道を付けてくれたご労苦に感謝です。

今回は晴天に恵まれ、先ずは朝7時に常盤の除雪ステーションに集合。乗り合わせていざ登山口駐車場へ。恵庭岳は初めての人が多く、経験者も久し振りとのことで大張り切りです。登山を開始して間もなく、立派に復旧したポロピナイ沢の砂防ダムや巨大な流木留めが目を引きます。

その後は流されて来た大きな岩や倒木を乗り越え、恵庭岳名物の長いロープ場に掛かります。一人ずつ慎重に登り雑木林を抜けると、急に開けた第一見晴台のガレ場です。そこからは噴煙たなびく爆裂火口が目に飛び込んで来ます。ここで気のいい山ガールさんにお願いして集合写真をパチリ!　ここからアップダウンを繰り返して暫定頂上の第二見晴台を目指します。途中には神秘の湖、エメラルドグリーンのオコタンペ湖が樹々の間に見え隠れします。ようやく岩塔を間近に見上げる第二見晴台に到着です。ここから先は崩落の危険があるためにロープが張られ立ち入り禁止。

しばし景色に見取れながらの昼食タイム。何と言っても山々に囲まれ見事な曲線を描く支笏湖ブルーに目を奪われます。下山もロープを使って慎重に下ります。この会としてはかなりハードな山で二人が無念のリタイア。かなりばててヘロヘロの人もいましたが何とか無事に下山。下山後は近くの秘湯丸駒温泉で汗を流し、ようやく宿願の登山を果たし大満足の一日でした。

第6回　10月6日(日)／参加者24名
徳舜別山 1,309m～ホロホロ山 1,322.3m

(記録者／山登り同好会 舟田　岳昇)

登山口は支笏洞爺国立公園の真ん中付近の国道453号大滝村の旧鉱山跡地が駐車場になっており、休日は満車となり溢れた車は林道脇に下山の車の邪魔にならぬように駐車する位の人気の山でした。

山頂までの標高差は695mで、更に双耳峰である隣のホロホロ山まで足を伸ばすと往復3山を登る事になります。道内唯一の多降雨地帯である支笏湖の西方に位置する当山域も近年の多降雨傾向にならい渓流沿いの河岸浸食が激しく、荒れた河原を経て旧登山道へと続いていました。

上部の登山道は比較的整備され初心者からベテランまでの人気の高さが車の数となっているようです。山頂部は岩場で隣のホロホロ山、恵庭岳、風不死岳、洞爺湖、太平洋等が俯瞰され大展望を満喫して来ましたが、季節が進んだ遅めのアプローチのため楽しみにしていた花「エゾリンドウ」には出会えませんでした。次回の出会いを楽しみにしています。山頂でのランチタイムや登り降り時の皆さんとのお喋りそして心洗われる大展望と沢山の感動を頂いた山登りでした。

また、今回の山行に当り、多くのご協力を頂いた皆様方に心から感謝申上げます。有難うございました。

開催セミナー・イベント予告

第2回BCP策定セミナー …… 1月23日（木）開催

近年発生した各地の地震や豪雨では多くの企業が被災し、営業休止や生産ラインの停止等、事業活動に大きな影響をもたらしました。こうした自然災害や不測の事態に際し、企業がその被害を最小限に抑え、事業を継続するためには日頃の対策が不可欠であり、その重要性が大きな関心事となっています。

前回に引き続き今回は更に踏み込んで「BCP策定の第一歩」～ここをスタートラインとして～　過去の事例を参照しながらわかりやすく解説いたします。

職長・安全衛生責任者教育講習会 …… 2月19日（水）～20日（木）開催

製造業、建設業では、新たに作業中の労働者を直接指揮・監督する立場となった者への教育が必要です。（労働安全衛生法第60条）

建設業で50人以上の労働者が働く工事現場（ずい道等の建設の仕事等は30人以上）に入る下請業者は、安全衛生責任者の選任が必要です。（労働安全位衛生法第16条）

この安全衛生責任者が労働災害を防止するために適切な業務を遂行するために必要な教育内容が厚生労働省から示されています。受講者には組合理事長名による「修了証」を交付いたします。

低圧電気取扱者に対する 労働安全衛生特別教育講習会 …… 3月10日（火）開催

電気設備の整備や保守管理、適正な作業の遂行を図るとともに、電気取扱業務の従事者は、その作業を安全に行うための知識及び技能を有する事が重要です。

労働安全衛生法及び厚生労働省通達で定められたカリキュラム（8時間）に基づく受講内容で行います。なお、受講者には 一般社団法人 日本電気協会 北海道支部による「修了証」を交付いたします。

第44回親睦麻雀大会 …… 2月29日（土）開催

福利厚生事業の一環として組合創立後、まもなくスタートした親睦麻雀大会も44回目を迎え、その伝統を引き継いできております。

本年も上記の日程で開催いたしますので、組合員の参加お待ちしております。

全国中小企業団体中央会会長表彰 受賞

令和元年11月26日（火）東京都で開催された「中小企業等協同組合法施行70周年及び中小企業団体の組織に関する法律施行60周年記念式典」に於いて、当組合事務局 薄 尚吾さんが全国中小企業団体会長名による「組合専従優良従業員」として表彰されました。勤続24年。これからもよろしくお願いいたします。

わが郷土の歴史　その35

発見から90年　江別古墳群

（江別の歴史を伝える集い会員・一般財団法人北海道文化財保護協会理事）　石垣　秀人

▲江別市郷土資料館に展示の江別古墳群ジオラマ。

昨年7月、ユネスコ（国連教育科学文化機関）は、世界最大級の墳墓である「仁徳天皇陵」（大山古墳、堺市）を含む「百舌鳥・古市古墳群」（大阪府）の世界遺産登録を決定した。「仁徳天皇陵」は国内最大の前方後円墳で墳丘の長さが486㍍。古墳は数十㍍の円墳や方墳、帆立て貝形など多様な規模と形状を持ち、被葬者の身分や権力を示すとされている。世界遺産の古墳と規模も年代も違うが、畿内の大和政権の影響下で造られたという意味では同じ「古墳」が江別に現存する。

道道江別インター線と5丁目通りの交差点、世田豊平川の高台、河川敷に位置し、円墳が18基残っている。

古墳文化の終末西暦7世紀頃、東北地方北部を中心に「群集墳」と呼ばれる古墳群が造られるようになる。群集墳は、大和政権の影響下にあった東北南部との接触交流により、東北北部に成立した独自の墓制と考えられ、9世紀頃まで受け継がれ北海道にも波及した。北海道の群集墳は、石狩川支流域の3ヶ所（江別2・恵庭1）で確認され、現存するのはこの江別古墳群だけ。

世田豊平川の高台、円墳18基が下草に広がる。

謎の多い遺跡

江別の古墳は、1931（昭和6）年に当時札幌市の山鼻小学校の教員だった後藤寿一氏が、札幌江別町字兵村（現江別市元江別・後藤遺跡）で16基、1932（昭和7）年に河野広道氏が江別町字対雁町村農場（現江別市いずみ野・町村農場遺跡）で2基を発見・発掘している。

国指定史跡の文化財標柱。

古墳の発見は、北海道内外に反響を呼び、当時、東京帝室博物館（現東京国立博物館の前身）に勤務する後藤守一氏は古墳に関する論文で「北海道式古墳」と命名した。その後、1980（昭和55）年に江別市教育委員会が道道江別インター線工事に伴い後藤遺跡を再調査し、21基の古墳を改めて確認した。築造は8世紀後半～9世紀、道内の擦文時代（本州は奈良・平安時代）にあたる。現地の古墳は道路にかかる3基を除いて18基を保存した。

円墳は直径3～10㍍、環状または馬蹄形状の周溝がめぐり、中央部に周溝から掘り上げた高さ約1㍍の盛土で墳丘を築いている。さらに墳丘中央を掘り下げ木棺をじかに埋葬したものと思われる。

古墳から出土した遺物には、蕨手刀、毛抜形刀、鉄製刀子などの鉄製利器や耳環、勾玉などの装飾品が本州からの搬入品と報告されている。このことから古墳の被葬者は当時の律令体制下にあった地域と深く関わった人物と考えられる。この時代に、本州とのつながりを示す重要な遺跡ですが、誰が葬られたのか、有力な説は①在地人（擦文人）②渡来和人③渡来した東北人（渡来蝦夷）―の3つ。いずれにしても文字記録や証拠が少ないため埋葬者は謎のまま、未だ謎の多い遺跡といえる。

江別古墳群は群集墳の最も北に位置し、北海道に現存する唯一の古墳群として、また当時の北海道と律令支配のおよんだ地域との交流を考える上で極めて重要な遺跡として1998（平成10）年9月11日、国の史跡に指定された。

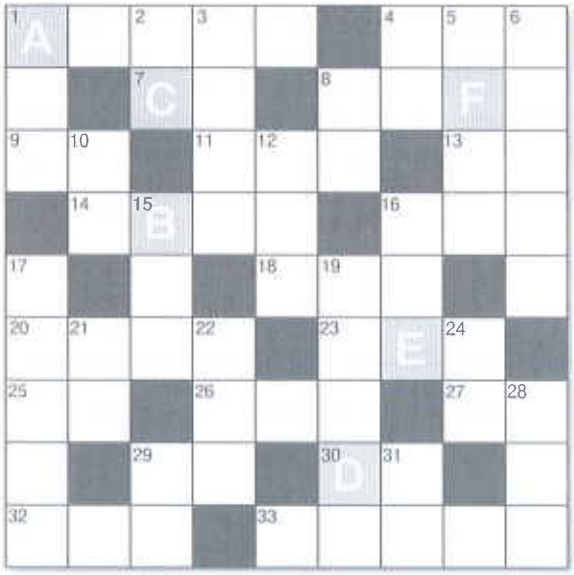
古墳発見から約90年。世田豊平川の高台に古代のロマンを訪ねてみるのも良い。なお、江別古墳群の解説と模型（ジオラマ）が江別市郷土資料館（江別市緑町西1）に展示されている。

詳しくは、郷土資料館☎011-385-6466まで。

（参考：江別の遺跡をめぐる/2010江別市教育委員会）

第84回 クロスワードパズル

今回の答えは［冬］にちなんだパズルを選定掲載いたしました。どうぞ解答をお寄せ下さい。
解答はハガキか用紙（自由）に記入して、郵便番号、住所、氏名、電話番号を明記のうえ、江別市工栄町15番地の1　江別工業団地協同組合広報委員会あて、2月15日までに郵送またはお届け下さい。正解者の中から抽選で10名様に粗品を郵送します。



第83回パズルの答え　※正解者総数は28名でした。

A	B	C	D	E	F	G
マ	ッ	タ	ケ	ゴ	ハ	ン

正解者の中から抽選で次の10名の方に景品として町村農場の「のむヨーグルトセット」を郵送いたしました。

●当選者

及　川　様（札幌市）	狭　田　様（札幌市）
加　藤　様（札幌市）	藤　原　様（札幌市）
白　岩　様（江別市）	本　多　様（江別市）
田　中　様（岩見沢市）	松　本　様（札幌市）
辻　様（江別市）	村　井　様（北広島市）

【タテのカギ】
1　輪島塗、会津塗で有名。椀などに塗りを施したもの
2　ゴルフではフェアウェー外の草地のこと
3　景色や古跡で有名なところ
4　気取っていていやみなこと。○○な奴
5　受験や面接の前にまず提出する書類は?
6　武士は食わねど○○○○○
8　偽ってだまし取ること
10　「出る○○は打たれる」
12　秋、ここの人たちは稲刈りで忙しい
15　ブルー、プロセス、カマンベールと言ったら?
16　山を染める紅や黄色の秋の風物詩
17　「寝て待て」と言うけど、たしかに運の良い人はいるもの。幸せ者
19　雪舟の山水図など中国から伝わり室町時代に栄えた絵
21　動物園では動物たちはたいていこれに入れられている
22　新進○○○のパズル作家
24　トランプのダイヤの形。日本風にいうと○○形
28　秋の七草はススキの別名。幽霊の正体見たり枯れ○○○
29　童話『○○とキリギリス』
31　カトレア、胡蝶はこの花の仲間

【ヨコのカギ】
1　別名はなんと豚の饅頭。布施明のヒット曲に歌われた花は?
4　靴を作るときに用いる足の形をした木
7　思いがけないこと。○○の客。○○に襲われる
8　童謡「たきび」に歌われた樹木。白または薄紅の花が咲く
9　秋の花の代表的存在。これで人形もつくる
11　はげしく争うことを○○○を削ると言う
13　いろいろの、多くの。○○外国。○○問題。○○先輩
14　秋にギンナンのとれる樹木
16　秋は天気が変わりやすい。空○○○がおかしい
18　永田町とともに政治・行政の中心地は、○○○ケ関
20　漢字では「鬼灯」。東京の浅草寺では市が開かれる
23　メンテナンスに必要なお金
25　スイカ、カボチャ、ヒョウタンは○○科の植物
26　笑うとできる人もいる。
27　月や太陽の引力で満ちたり引いたりするものは?
29　男は度胸、女は○○嬌
30　昔の商家は必ずあった。ここに千両箱がぎっしり
32　武田軍団はこれに風林火山を染め抜いた
33　別名、曼珠沙華。秋に赤色の花を咲かせる

第83回パズルの答え

キ	コ	■	ホ	ウ	シ	ユ	■	コ
モ	ウ	ケ	ン	■	シ	キ	キ	ン
イ	■	シ	マ	ツ	■	オ	タ	ワ
リ	カ	■	ツ	ウ	ダ	■	ハ	■
■	フ	ユ	■	カ	ツ	バ	マ	キ
シ	ン	ウ	チ	■	カ	ン	■	ユ
ヤ	■	カ	タ	イ	■	ト	ホ	ウ
カ	シ	ン	■	ビ	ワ	■	ツ	バ
イ	ゴ	■	ア	キ	レ	ス	ケ	ン

クロスワードを解き、A～Fをつないだ言葉が答えです。

A	B	C	D	E	F

組合予定行事

【1月】
15日（水）／組合新年交礼会
〃／定例三役会
〃／「ついしかり」第146号発行
22日（水）／理事会
23日（木）／BCP策定セミナー

【2月】
6日（木）／広報編集委員会
13日（木）／ワンコインレッスン
18日（火）／定例三役会
19日（水）～20日（木）／職長・安全衛生責任者教育講習会
20日（木）／福利厚生広報委員会
29日（土）／組合創立45周年記念・第44回親睦麻雀大会

【3月】
5日（木）／安全衛生委員会
10日（火）／低圧電気取扱者・労働安全衛生特別教育講習会
12日（木）／販売購買委員会
〃／ワンコインレッスン
17日（火）／定例三役会
19日（木）／総務委員会
〃／共同受電事業委員会
27日（金）／理事会
〃／5委員会合同会議